

令和3年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
南	1	路線バス減便の抑制に資する交通結節点整備	1 路線バス減便の抑制に資する交通結節点整備の規模を検証 2 1を踏まえた整備誘導手法を検討	道路局 都市整備局	○
南	2	マイナンバー臨時申請窓口の恒久化及び機能拡充	1 「臨時申請窓口」の恒久化と、周知強化 2 「臨時申請窓口」を「マイナンバーセンター」として機能拡充と将来的な市内方面別展開	市民局	○
南	3	新型コロナウイルス感染症(自宅待機中)における養育困難な家庭への支援	1 親子分離を要する事案発生時、円滑な医療機関への入院が可能な支援体制の拡充 2 ヘルパー派遣等の訪問型の支援策の検討	こども青少年局	—
南	4	永田台コミュニティハウスのバリアフリー化	1 コミュニティハウス利用者向けのエレベーターの設置 2 予算化が難しい場合、バリアフリー化に向けた学校との協議の場の設置	教育委員会 事務局	—
南	5	六ツ川中央公園の用地買収	年1回以上の地権者との交渉及び機を捉えた用地買収費の確保	環境創造局	○
南	6	中村川沿いの環境整備(健康みちづくり推進事業)	中村川沿いの環境整備	道路局	○
南	7	大岡川プロムナードの桜の更新	大岡川プロムナードの桜の更新	道路局	○
南	8	地震火災対策重点路線の早期整備	1 汐見台平戸線 事業費の確保と整備の推進 2 六角橋線 未着手区間の早期事業化(認可取得等) 3 泥亀釜利谷線 現道のない区間530mの早期整備 4 事業所管部署の体制強化	道路局	○

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局、都市整備局
------	-----------

南区		区政推進課	
担当者名	青木	TEL	341-1232
共通区			

継続年数	新規
------	----

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
1	路線バス減便の抑制に資する交通結節点整備

◇地域の課題、基礎データ等

1 近年、南区においても生産年齢人口の減少による路線バス利用者の減少や運転手不足の深刻化に伴う路線バスの減便が進んでいます。

2 また、区内には多くのバス便が集中し、長大路線や非効率な折返し、バス停が点在するなどの状況が課題となっています。

3 バス利用者が多い区西部では高齢化が進み、今後も路線バスの重要性が高まることが予想されるため、減便を抑制する具体的な方策が必要です。

【基礎データ】
R 2春減便：南区（平日7系統▲61便、休日10系統▲148便）、市南西部（平日21系統▲182便、休日19系統▲339便）

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

・山坂が多く、高齢化が進む中、バス交通が唯一の手段であるが、かつてより減便が進んでおり、なんとか維持してほしい。

※減便理由について関心が高く、バス事業者へ説明を求める地域あり
※地域交通の検討ニーズあり（現在検討を進める地区複数あり）

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

都市計画マスタープラン・南区プラン：「身近な交通の維持・充実」

- ・人口減少や少子高齢化等、今後の社会状況の変化や適正な需要を踏まえ、交通事業者と連携し、地域住民の生活を支える身近なバス路線の維持を図ります。
- ・適切な道路整備・改善により、バスの走行環境の維持・向上を図り、利便性の高いバス交通のサービスが可能な環境を整えます。

◇提案内容・概算額等

今後は、区と所管局が連携して検討を進めます。

- 1 路線バス減便の抑制に資する、交通結節点整備の規模を検証
調査検討費 ■■■■■ 千円（道路局企画課、都市整備局都市交通課）
- 2 1を踏まえた整備誘導手法を検討
調査検討費 ■■■■■ 千円（都市整備局地域まちづくり課）

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	道路局企画課、都市整備局都市交通課、地域まちづくり課
------	----------------------------

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	井上、八尾	TEL	671-3800

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容 交通施策の検討については、バス事業者等関係者調整のノウハウを持つ局の支援が必要であることから、地域の課題解決に向けて候補地の活用を検討する区の取組の一環として、区局連携した事業により取り組みます。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

都市整備局		都市交通課 地域まちづくり課	
担当者名	村上、武下 西田、小杉	TEL	671-4128 671-2939

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容 1について 地域の課題解決に向けて候補地の活用を検討する区の取組の一環として、必要な交通施策の検討を行う上で、都市交通に関する調査等を所管する局の支援が必要であることから、区局連携した事業として取り組みたい。 2について 交通結節点整備の検証を踏まえつつ、区や関係課と連携し、規制誘導地区の事例として適切な具体的誘導手法を検討します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局
------	-----

南区		戸籍課	
担当者名	中山	TEL	341-1118
共通区	全区（瀬谷区は1のみ）		

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算・制度関連	
番号	項目
2	マイナンバー臨時申請窓口の恒久化及び機能拡充
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>1 マイナンバーカードの申請件数が増加しているため戸籍課窓口における交付可能件数を上回り、カードの受け取りまでかなりの日数を要し、予約が取れない等の苦情も寄せられています。</p> <p>2 土曜開庁日に予約が多く、閉庁日の土曜、日曜日の交付についても要望を受けています。</p> <p>3 電子証明番号の再設定等も住所異動の窓口と同処理になるため手続きに長時間要しています。</p> <p>【交付件数】H28度：21,419 H29度：6,954 H30度：5,181 H31度：5,854</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）	
◇区民からの具体的な要望	
閉庁日の土曜、日曜日の交付も行ってほしい。 予約がなかなか取れなくて困っている。	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
R2年度から交付窓口を増設し、交付可能件数を増やすよう努めてきました。 マイナンバー臨時申請窓口開設後は、区民に対しちらし等で周知し、利用を働きかけてきました。	
◇提案内容・概算額等	
<p>1 マイナンバーカード申請者の大幅増を踏まえ、「臨時申請窓口」の恒久化と、一層の利用促進に向けた周知強化を提案します。</p> <p>2 現在の戸籍課窓口の状況を踏まえ、「臨時申請窓口」の機能について、現在の申請時受付業務に加え、戸籍課で行っている交付・電子証明再設定等の業務も含めた「マイナンバーセンター」として拡充することを提案します。さらに、申請状況によっては、将来的には市内方面別にセンターを展開することも検討すべきと考えます。（機能拡充後、区戸籍課では異動届による券面記載を行うことを想定しています。）</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	市民局窓口サービス課

◆局回答内容

市民局		窓口サービス課	
担当者名	川口	TEL	671-2176

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 横浜駅の臨時申請窓口を特設交付拠点として転換することを検討しています。また、横浜駅の特設交付拠点に加え、令和3年度に方面別に2か所、特設交付拠点の開設を検討しています。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	こども青少年局
------	---------

南区		こども家庭支援課	
担当者名	戸矢崎、土田	TEL	341-1151
共通区	1区(旭区)		

継続年数	新規
------	----

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
3	新型コロナウイルス感染症(自宅待機中)における養育困難な家庭への支援

◇地域の課題、基礎データ等

- 新型コロナウイルス感染症陽性患者は1,835人(8月23日時点)です。20~40代の年代別人数内訳は20代_490名、30代_269名、40代_274名であり、全体の56.3%です。
- 「陽性者」もしくは「濃厚接触者」として養育者自身になる事態は起こりうるため、養育者自身の入院等による養育の中断など家庭全体への影響が考えられます。
- 核家族化の進展、頼れる親族は遠方に居住しているなど家族間での支援が得られにくい子育て家庭は、一定数存在すると想定されます。そのため新型コロナウイルス感染症の発生時には、自助や親族間での支援が得られず、より養育者の負担が増強すると考えられます。特に継続的な支援が必要な家庭(要保護児童、要支援児童がいる家庭等)では、より厳しい養育状態に陥り、児童虐待のリスクが高くなる虞があります。
- 感染者の中には児童福祉施設の関係者も含まれ、感染状況により保育園の臨時休園など、養育環境への影響も生じています。
- 現時点では、両親ともに感染し、養育が困難な状況には児童福祉施設等への一時保護が講じられています。しかしながら、自宅待機中の子育て家庭に対する支援策は十分ではありません。
- 参考：南区在住者の陽性患者98名、旭区在住者の陽性患者117人(8月21日時点)

◇地域ニーズ等の収集手段

<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等	<input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等	<input type="checkbox"/> 3 地区担当制	<input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等
<input type="checkbox"/> 5 区民アンケート	<input type="checkbox"/> 6 区民要望	<input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望	
<input type="checkbox"/> 8 その他()			

◇区民からの具体的な要望

【自宅待機中の養育者】
「子どもと24時間、自宅で過ごすことへのストレスがたまり、子どもを叩いてしまった。少しでも良いから、子どもから離れることができる時間が欲しい」

【保育園利用者 濃厚接触者として自宅待機した養育者】
「2週間、親子4人で自宅にこもって過ごすのは本当に大変だった」

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

両親が陽性者で入院等、自宅外での治療等を要し、親族等の養育など代替策がない場合には児童相談の一時保護、医療機関への委託等が考えられています。しかしながら、自宅待機中の養育者に対する直接的な支援策はなく、現状では電話による育児相談を実施しています。

◇提案内容・概算額等

親子ともにPCRの結果待ち(自宅待機中)で親子分離を要する事案発生時、円滑な医療機関への入院が可能な支援体制の拡充。
子育ての負担軽減が必要な事案への対応策として、ヘルパー派遣※等の訪問型の支援策の検討。(※親子への接触は生じない買い物支援や室内の清掃等、感染症対策を講じられる支援メニューを想定。)

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	こども青少年局こども家庭課
-----	---------------

◆局回答内容

こども青少年局		こども家庭課	
担当者名	藤浪	TEL	671-2390

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 新型コロナへの感染の恐れがあるご家庭のお子さんの扱いについては、そのケースごとにどのような対応を行っていくか、保健所の指示に従いながら個別に判断し対応しているところです。また、濃厚接触者のお子さんに対する一時保護の必要が生じた場合は、児童相談所が受け入れています。
	◇対応する場合の課題 ヘルパー派遣については、感染の恐れのある家庭への派遣に対応できる事業者は限られることが想定され、実際には実現が難しいことと考えます。

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	教育委員会事務局	南区		地域振興課	
		担当者名	飛留間、栢原	TEL	341-1237
		共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	

番号	項目
4	永田台コミュニティハウスのバリアフリー化

◇地域の課題、基礎データ等

永田台コミュニティハウス（以下「CH」という）は、永田台小学校の3階部分に設置されており、施設開設時からエレベーターの設置が強く要望されています。市内CH116か所のうち23か所はエレベーター未設置であり、そのうち4か所は3階まで階段を利用しなければならない状況です。65歳以上のCH利用者は5年前と比較し、全市で増加（30%→36%）していますが、永田台CHでは減少（50%→43%）しています。永田台CHの稼働率は約70%で、全市CH平均の約57%と比べて高くなっているにも関わらず、65歳以上の利用者数が減少しているのは、エレベーター未設置との関連があると考えられます。高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）や、横浜市福祉のまちづくり条例において、高齢者等の多数の人が利用する公共施設としての基準に適合させる必要があります。地域の方からも地区懇談会等で要望の声があがっています。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

施設利用者は、多岐にわたりの、太鼓等重い荷物の搬入に苦労しています。また、施設周辺住民の高齢化が進んでおり、利用者の約半数を占める65歳以上の方の利便性を高めるため、エレベーターを設置し、直接施設にアプローチできるようバリアフリー化を図ってほしい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

- 平成17年度要望までは、主にエレベーター設置を要望していました。
- 平成18年度要望では、①小学校の空き教室等を整理し、学校内1階にCHを移転する案、②CH3階部分と学校施設1階部分の機能を入れ替える案について相談しましたが、物理的に困難であるとの回答がありました。
- 平成19年度、20年度要望では、CHに隣接する南永田台団地の周辺道路から直接CHへ橋を架ける案を提案しましたが、対応困難との回答でした。
- 平成21年度～26年度要望では、空き教室等の調整をしていただき、3階のCHを1階に移転、それができない場合はエレベーターの設置を要望しましたが、対応困難との回答でした。
- 平成27年度～令和元年度要望では、エレベーターの設置は重要な区民要望であり、バリアフリー化が図られていないことが要因と推測される65歳以上の利用者の伸び悩みもあることから、改めてエレベーターの設置を要望しましたが、対応困難とのことでした。

◇提案内容・概算額等

既に児童用エレベーターは設置されていますが、別棟3階にあるCHには連絡していないため、CH利用者向けのエレベーターを設置する。また、外付け構造とすることで学校の教育活動やCHの活動へ及ぼす影響を最小限に抑える。予算化が難しい場合、バリアフリー化へ向けた対応について学校側と継続的に話し合える場を設けてほしい。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	教育委員会事務局学校支援・地域連携課
------	--------------------

◆局回答内容

教育委員会事務局		学校支援・地域連携課	
担当者名	石井、平林	TEL	671-3278

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	学校施設のエレベーター設置は、肢体不自由児の状況や車いす利用児童の状況等を鑑みながら設置しており、令和2年8月末現在、市内小中学校487校中187校しか設置できていません。本来、設置しなければならない学校が多くある中、永田台小学校にはすでにエレベーターが1台設置されており、コミュニティハウス用のエレベーター設置は厳しい状況です。なお、バリアフリー化へ向けた対応について学校側と継続的に話し合える場の設定については、今後、関係部署と協議してまいります。
	◇対応する場合の課題
	エレベーターを設置するにあたっては、既存建物の改修が必要です。

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局
------	-------

南区		土木事務所	
担当者名	伊熊 信男	TEL	341-1108
共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	
番号	項目
5	六ツ川中央公園の用地買収
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>六ツ川中央公園は平成8年3月に公開された近隣公園です。公園中央部に未買収用地（約1,500㎡）があることから、大変利用しにくい形状となっており、連合町内会や地元自治会などから用地買収とその後の整備を要望されています。</p> <p>【基礎データ】 公園種別 近隣公園 使用面積 23,838㎡ 公開年月日 平成8年3月25日</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（六ツ川地区連合町内会、内手自治会からの要望）	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> ・未買収用地を早期に買収し、公園として整備してほしい。 ・地形の関係で広場が狭い公園なので、買収用地は広場として整備してほしい。 ・未買収用地の管理がされていないので草が伸び放題で火事などの心配がある。 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>当該用地の買収については、継続して環境創造局に要望しており、昨年度には「対応する」として、「継続して年1回は地権者との顔つなぎを実施し、買収の見通しが立った段階で予算要求していきます。」との回答を受けています。</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>未買収用地は共有名義となっており、地権者の一部には用地買収には同意しないという方もいます。担当部署には、年1回は地権者との顔つなぎを継続して実施し、用地取得の機会がある時には、速やかに予算を確保し用地取得及び整備を行ってほしい。</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
<p>現行の体制で対応</p>	
◇所管局	
所管局課	環境創造局緑地保全推進課

◆局回答内容

環境創造局		緑地保全推進課	
担当者名	塚原	TEL	671-3948

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	事業用地所有者との用地買収交渉を進めていますが、交渉に応じていただけない状況が続いています。今後も、継続して年1回は地権者との顔つなぎを実施します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

南区		土木事務所	
担当者名	中島	TEL	341-1107
共通区			

継続年数	5年
------	----

提案種別	予算関連
------	------

番号	項目
6	中村川沿いの環境整備(健康みちづくり推進事業)

◇地域の課題、基礎データ等

横浜市では、超高齢社会を迎え、中期4か年計画の戦略3『超高齢社会への挑戦』の政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」において、「継続的に取り組める健康づくりの推進」を進めることとしており、市民の健康増進や外出意欲向上に資する歩行空間の整備を進める「健康みちづくり推進事業」に取り組んでいます。南区内においても、平成27年度から大岡川プロムナードにおいて、歩きやすい歩行空間となるよう歩道の再整備や休憩施設の設置等を進めてきました。さらに、中村川沿いの道路は、西区、南区および中区に跨る「健康みちづくりルート広域版」として設定されており、楽しみながら健康づくりに取り組むことのできる場をさらに創出していくことが求められています。

一方で、中村川沿いの歩道や植栽帯では、ごみが不法に廃棄されるケースが多くみられ、ごみの回収やごみを捨てられないような対策について区民から要望を受けています。これまで、土木事務所では、注意看板の設置等による対策を行ってきましたが、ごみは減らず、道路の再整備等による抜本的な対策が必要となっている状況です。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他 ()

◇区民からの具体的な要望

- ・楽しく健康づくりできるような歩行空間を整備してほしい。
- ・道路や植栽帯に多くのごみが不法投棄されており、捨てられないようにしてほしい。
- ・ハマロードサポーターが清掃協力しているが、ゴミ量が多く、その処理等に苦慮している。
- ・首都高速道路の桁下が暗いので、環境改善してほしい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

- ・健康みちづくりルート各区版として大岡川プロムナードの再整備は実施中。
- ・健康みちづくりルート広域版(中村川沿い道路等)は概略設計(平成30年度)
- ・ごみの回収の実施
- ・ごみ廃棄禁止の看板、フェンスの設置

◇提案内容・概算額等

中村川沿いの環境整備を進める
 ・健康みちづくり推進事業の確実な予算化
 【令和3年度】
 委託・工事費 概算額 千円
 【令和3年度以降】
 道路整備

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	道路局企画課
------	--------

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	松丸、石井	TEL	671-4086

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	今年度の執行状況も踏まえて、今後区と調整していきます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

南区		区政推進課 土木事務所	
担当者名	迎・松本	TEL	341-1232・1107
共通区			

所管局名	道路局
------	-----

継続年数	新規
------	----

提案種別	予算関連
------	------

番号	項目
7	大岡川プロムナードの桜の更新

◇地域の課題、基礎データ等

南区のシンボルである大岡川プロムナードは、古くから区民の皆様にも愛されている桜の名所であり、近年では各メディアにも取り上げられ、区外からの観光客も訪れる賑わいの中心となりました。しかし、桜の根上がりによる舗装の持ち上がりにより通行に支障をきたしていた場所が数多くあり、加えて、桜並木の半数以上が老朽化による倒木の恐れがあったことなども踏まえ、平成20年度より「プロムナード再整備基本計画」に基づき再整備を行ってきました。

プロムナード全体の再整備工事は今年度に終了する予定ですが、再整備工事着手から既に10年近くが経過しているため、当時は状態に問題が無かった桜においても、伐採等の対応が必要になっています。平成28年度に実施したプロムナードの桜460本の樹木診断では、114本の桜に異常が見られ、引き続き観察が必要と判定されました。

大岡川プロムナードの魅力的な景観を維持するためにも、これらの場所について順次植替えが必要な状況です。

◇地域ニーズ等の収集手段

1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
 8 その他 ()

◇区民からの具体的な要望

- ・伐採後の桜の切り株が残っているのを、新しい桜に植え替えてほしい。
- ・プロムナードの歩道が桜の根で持ち上げられ、凹凸があるのを整備してほしい。
- ・キノコの付着や、幹の空洞が見られる桜がある。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

- 横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン「引き継がれた地域資源を生かし、地域の魅力を育む」
- 大岡川プロムナード再整備
 - ・南区さくら・保全活用計画策定（平成17年度）
 - ・プロムナード再整備基本計画策定（平成18年度）
 - ・プロムナード再整備工事（平成20年度～令和2年度）
- 令和2年度南区運営方針 「賑わい」

◇提案内容・概算額等

●環境創造局・道路局：大岡川プロムナードにおける桜の更新費用 約 千円
 <大岡川プロムナード(与七橋～太田橋)における桜の更新費>
 ・高木植樹・植栽樹整備 千円/本×10=約 千円
 *予算取り纏めは道路局(施設課)が担当

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局・関連局

所管局課	道路局施設課
------	--------

◆局回答内容

道路局		施設課	
担当者名	北村・藤波	TEL	671-2786

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 街路樹管理事業として必要な工事費を予算計上します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局	南区		区政推進課	
		担当者名	小倉、青木	TEL	341-1233
		共通区	2区（神奈川区、金沢区）		

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	
番号	項目
8	地震火災対策重点路線の早期整備
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針(2014年3月)」において、都市計画道路の整備による延焼遮断帯の形成が謳われ、「地震火災対策重点路線」として汐見台平戸線と六角橋線を位置付け、その後、2015年3月に泥亀釜利谷線が追加されている。</p> <p>【現状】●汐見台平戸線(南区)全線着手済み ●六角橋線(神奈川区)未着手区間560m ●泥亀釜利谷線(金沢区)未整備区間810mのうち現道のない530mに事業着手(2018)</p> <p>○減災目標(2022)まで残り3年だが、事業化の目処が立っていない未着手区間がある。 ○地震火災対策方針に位置付けされたが、街路事業の枠内(枠的公共事業)に留まっている。 ○3路線の整備には、2018~2022年度までに事業費約118億(うち用地費約106億)円が必要と見込まれている。 ○事業中の都計道整備に係る国交省道路局の交付金内率が低く整備が進まない。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()	
◇区民からの具体的な要望	
<p>南区 2010~歩道が無く危険という意見や幅等要望あり 「別所地区懇談会」にて要望あり</p> <p>神奈川区 未着手区間の早期整備について、2015神奈川区民協議会「区民のつどい」にて要望等あり</p> <p>金沢区 未整備区間のうち現道のない区間530mの早期整備について区民要望あり</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>汐見台平戸線・六角橋線の事業中区間の一部は各区土木事務所で実施中 泥亀釜利谷線は、別途、金沢区の地域ニーズ案件として26年度予算要望から継続して提出中 「泥亀釜利谷線の整備促進」金沢区提案一般案件</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>【課題解決のための方策】 ○汐見台平戸線 補助事業として整備を着実に推進 ○六角橋線・泥亀釜利谷線 国交省交付金メニューの積極導入とその事業費枠の拡大要望 ○枠的公共事業費とは別枠で事業費を確保 ○事業推進ため所管部署の体制を強化し、地元調整は関連局が連携</p> <p>【提案内容・概算額】 ●汐見台平戸線 事業費の確保と整備の推進 ●六角橋線 未着手区間の早期事業化(認可取得等) ●泥亀釜利谷線 現道のない区間530mの早期整備 ●事業所管部署の体制強化 測量・設計・用地買収費・工事等 3路線合計 約10億円</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	道路局企画課、事業推進課、建設課

◆局回答内容

道路局		事業推進課 企画課 建設課	
担当者名	【事】坂入、酒井 【企】周治、原 【建】入野、佐々木	TEL	【事】671-3533 【企】671-2777 【建】671-3539

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	汐見台平戸線については、土木事務所の改良事業と連携し、令和4年度までに延焼遮断帯としての効果を発揮できるよう整備を進めます。また、泥亀釜利谷線についても、令和4年度までに延焼遮断帯の効果が得られるよう、設計及び用地取得を進めます。(建設課) 六角橋線の未着手区間についても、事業化に向け、引き続き検討を進めていきます。(事業推進課・企画課)
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題